

注 意 報

長崎県病害虫防除所長

令和5年度病害虫発生予察注意報第2号

かんきつ かいよう病

1. 発生地域（対象地域） 県内全域

2. 発生程度 多

3. 注意報発令の根拠

7月前期の巡回調査（36筆）の結果、発病葉率は0.8%（平年 0.3%）、葉での発生圃場率は55.6%（平年 13.6%）、発病果率は1.0%（平年 0.1%）、果実での発生圃場率は25.0%（平年 4.2%）と平年より多い発生であった（図1、2、3、4）。

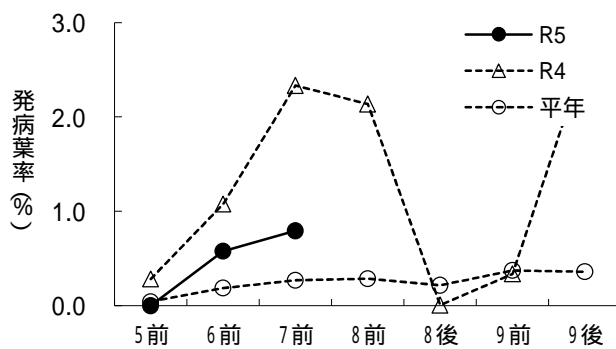


図1 かいよう病 発病葉率の推移

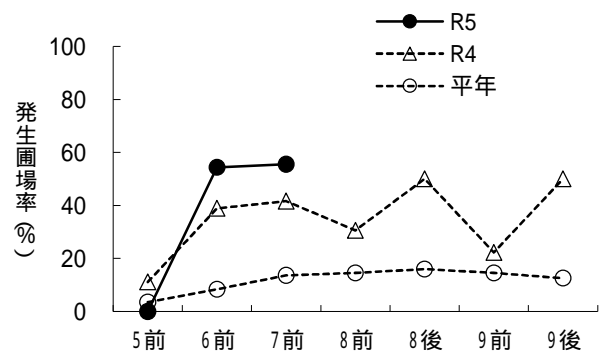


図2 かいよう病(葉) 発生圃場率の推移

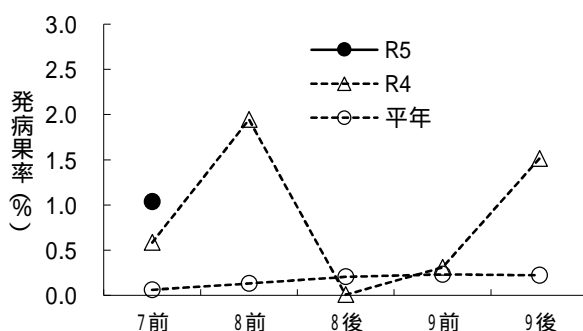


図3 かいよう病 発病果率の推移

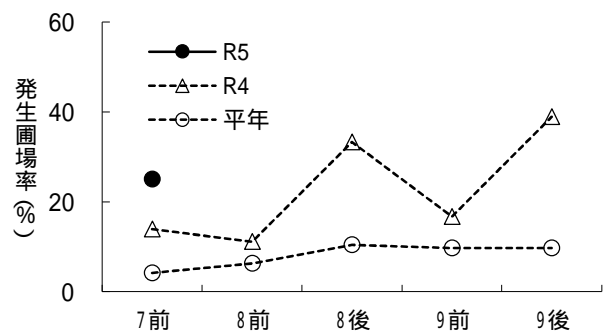


図4 かいよう病(果実) 発生圃場率の推移

4. 防除対策

- (1) 発病枝や葉は伝染源となるのでできるだけ除去する。
- (2) 強風による傷から感染しやすいので、今後の気象状況に注意し、台風が予想される場合は台風接近前に薬剤散布を行う。
- (3) 銅剤は高温期に散布すると薬害を生じることがあるため注意する。また、薬害防止のため農薬のラベルに従い、炭酸カルシウム水和剤（クレフノン等）を混用する。
- (4) 各品種による耐病性は下表のとおりである。耐病性が弱い品種は特に注意する。

表 かいよう病に対する各品種の耐病性（令和5年長崎県病害虫防除基準より）

耐病性	品 種 名
弱い	グレープフルーツ、ネーブル
やや弱い	ナツダイダイ、宮内イヨカン、天草、ありあけ
中程度	温州みかん、清見、不知火、南香
強い	ハッサク、ボンカン、ユズ、キンカン、日向夏

6月から8月までの3か月間を「農薬危害防止運動月間」と定め、農薬事故を防止する運動を実施しています。

長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室

（長崎県病害虫防除所）ホームページ」アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

この情報に関するお問い合わせ

長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室

（長崎県病害虫防除所） T E L : 0957-26-0027

